





でじまの木

社会医療法人 春回会
出島病院
DEJIMA HOSPITAL



Contents

 医学実習生	2
 がん経験者への運動教室	3
 季節イベント/栄養実習/バイオリン演奏会	4
 新人紹介	5



デジマノキ

「デジマノキ」は幕末の頃、オランダ人がインドネシアから移植した日蘭交流の貴重な記念樹です。日本では唯一ここだけに生息する木で県指定の天然記念物として、今も出島病院発祥の地に、およそ150年の時を超える命をつないでいます。

医学実習生



大阪大学医学部 6 年生の寺山真璃愛と申します。5 月 7 日から 31 日までの約 1 ヶ月間、ここ出島病院で勉強させていただきました。

これまで大学病院の実習でいろいろな科を回りましたが、どの科でも病気の治癒を目的とした診療を見てきました。治癒が最終目的ではない医療を勉強させていただいたのは初めてでした。

ここでの日常は、以下の通りです。

- ・主に伊藤先生のご指導の下、毎日診察し状態を評価しました。
- ・新規入院があれば採血やレントゲン、CT 検査の結果を見、プロブレムリストを挙げ、治療方針を先生と考えました。
- ・緩和ケア面談や麻薬使用などのインフォームドコンセントに同席しました。
- ・臨終の場に立ち合わせていただきました。
- ・多職種カンファレンスや褥瘡回診、訪問診療に参加しました。

出島病院ではいろいろなことを学びました。緩和ケアにおいては、疼痛コントロール、患者様やご家族様との意思疎通、多職種連携の3つが特に重要であることを学びました。

オピオイドや非麻薬性鎮痛薬で身体的な疼痛が緩和されているのを見てその効果を知ることができました。それと同時に、本人の身体的苦痛だけでなく、ご家族の心理的ケアも重要であることを学びました。人生の終末期の受け入れは、患者様やご家族の人生観や宗教観によってさまざまです。一分一秒でも長く生きてほしいと願うご家族や、予後 3 か月の実感が湧かないと心理的な不安を訴えるご本人、患者様の最期のときにほろほろと涙を流されるご家族、いろいろな方と接することができました。受け入れの難しい方には繰り返し説明や診察をした

りしてコミュニケーションを取っているスタッフがいました。

入院してから症状が落ち着いて自宅に帰ったり転院されたりする患者様もおられました。ケアマネージャーが、自宅で生活するために必要な設備などを手配していました。社会福祉士は適切な療養施設などを探して転院の準備を手配していました。理学療法士・作業療法士・言語聴覚士と患者様が一緒になってリハビリをし、ADL を維持する努力を見学できました。医師だけではなく、さまざまな職種が関わるチーム医療を学ぶことができたのは貴重な経験でした。

末筆ですが、1 ヶ月間指導してくださった先生方、温かく受け入れてくださった職員の皆様、実習に協力してくださった全ての患者様ご家族様に心よりお礼申し上げます。拙い演奏を聴いて頂きありがとうございました。長崎は歴史ある、とても美しい町です。学生の間ここで勉強させていただいたのは幸運でした。本当にありがとうございました。

医学実習生(大阪大学) 寺山 真璃愛



がん経験者への運動教室



日本のがん罹患数は男女ともに1985年以降増加し続けていますが、同じ国内でも罹患率に差があり、長崎県の人口当たりのがん罹患率は全国1位です。

がんは、とても身近な病気となり、治療をしながら仕事をしたり、生活していくことが増えてきましたが、がんによる症状だけでなく、がんの治療や副作用による体や気持ちのきつさがある中、治療を行い、仕事や生活をしていくことは大変です。

ただでさえきついの運動する方がいいのかと考える方もいるかと思いますが、運動をする方ががんの再発や転移が少なく、生存期間が長くなるということが多くの観察研究で確認されています。

がんの運動効果のメリットとして、①再発や進行リスクの軽減、②生命予後の延長、③骨粗しょう症予防、④疼痛緩和、⑤身体機能改善、⑥心肺機能改善、⑦不安軽減、⑧睡眠改善、⑨QOL（生活の質）向上、⑩倦怠感緩和が挙げられています。これらはがんリハビリテーションガイドラインに示されており、より高い運動効果を得るためには、何より自身が運動の必要性を理解し、主治医と相談しながらリハビリスタッフのサポートを受けることが大切とされています。

通常リハビリは、何らかの障害が起こってから受けるのが一般的ですが、がんのリハビリには「予防的リハビリ」というものがあり、これはがんと診断後早期に開始されるもので、手術や抗がん剤治療、放射線治療などが始まる前、あるいは実施された直後からリハビリを行うことによって、治療に伴う合併症や後遺症などを予防する効果があります。がん医療においては、このような予防的な関わりが重視されていることが、脳卒中などほかの分野のリハビリとは大きく異なる点です。また、がんのリハビリは治療と並行して行われるため、病状の変化をはじめ、あらゆる状況に対応することが可能で、治療のどの段階においても、それぞれのリハビリの役割があり、自分らしく過ごすことの支援を行っています。

とはいえ、長崎でがん経験者の方が安心して受けられる運動の場はとても少ないのが現状です。そこで、当院としても何か支援できることはないかと考え、がん経験者の方に限定した運動教室を企画し、2020年1月25日(土)に初開催しました。初回は約10名の参加をいただきました。運動前に検温、血圧測定、体調確認を行った後、途中で休憩をはさみながら約30分の運動を

行いました。立っての運動が難しい方は椅子に座って行うなど、体調や体力に応じて運動負荷を調整して行います。運動終了後には茶話会を開催。スタッフも交え、お茶やお菓子を食べながら、日ごろの不安や疑問、悩みなどを話していただき、交流の機会を作りました。参加していただいた方からは、「普段動かさない体の部分を動かして気持ちよかった」「また参加したい」との言葉を頂くことができました。毎月の定期開催を予定していましたが、その後コロナ禍に突入したことで対面での運動教室開催が難しくなり、約1年間開催できない期間がありました。それでも何とか開催できないか模索し、2022年からZoomを使ったオンラインでの運動教室という形で再開（現在は3か月に1回）しました。オンラインの為、運動教室後の茶話会は難しくなりましたが、参加していただけた方からは、「もっと開催頻度を増やしてほしい」とのうれしい言葉も頂いています。出島病院リハビリ科は、がん経験者の再発や進行リスクの減少に繋がるように運動できる“場”の提供、がん経験者同士ががんのことを語り合う交流の“場”の提供、気軽に専門職へ相談できる“場”の提供を目指しています。やっとコロナ禍が過ぎましたので、2024年は対面での運動教室の開催をできればと思っています。興味のある方は、ぜひ下記連絡先までご連絡いただければと思います。

<お問い合わせはコチラから>

TEL:095-822-2294 出島病院 地域医療連携室

電話受付時間 月～金 9:00～17:30

土 9:00～13:00



季節イベント

七夕



正月



節分

福



端午の節句



栄養実習

栄養実習生
活水女子大学 4年 松竹 咲葉

出島病院の実習では、他の実習先ではできない経験をさせていただきました。

特に、多職種の連携の大切さを学びました。

全ての患者さま、職員の皆さまに感謝いたします。



バイオリン演奏会

大変素晴らしい演奏に、患者さん・ご家族・職員一同 癒されました。ありがとうございました。



医学実習生
寺山 真璃愛さん

新人スタッフからの

ひとつひとつ Message



たなか まゆみ
看護師 田中 真由美

中々仕事を覚えられず申し訳ありません。頑張ります!!



やさ ちあき
看護師 矢佐 千晶

看護師としての経験が浅く未熟な面が多々ありますが、緩和ケアを一から学び一つ一つ自分の財産にしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



いわつき まりこ
看護師 岩月 まり子

何がその方にとっての最善なのかを考えながら、患者さんご家族の「つらさ」にしっかり向き合っていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



あおやま かよ
看護助手 青山 加代

患者様、スタッフの皆様の支えになれるよう、頑張ります。



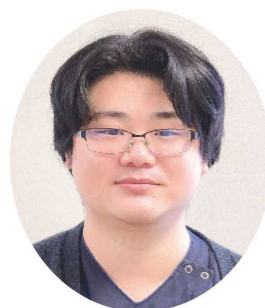
うら ゆうこ
栄養科 浦 木綿子

栄養士、調理師、調理員、みんなで協力し、真心を持って、安心・安全なお食事を提供していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



まつお ひであき
地域医療連携室 松尾 英明

このたびご縁をいただき、出島病院で働かせていただくことになりました。心機一転頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



まえだ こうすけ
放射線科 前田 光翼

この度、同じ法人内の井上病院から出島病院に勤務させていただくことになりました。これまで、急性期の患者様と接する機会はありませんでしたが、出島病院では、緩和医療を提供させていただくため、緩和医療に対する知識を深めていきたいと思っています。宜しくお願い致します。

病院理念

すべては患者さんをご家族のために
～ 寄り添い、共に、よりよく、その人らしく～

病院 基本方針

1. 全てのいたみを癒す緩和医療を提供します
2. チーム医療を実践しQOL(生活の質)の向上に努めます
3. 安心と満足の医療を提供します
4. 向上に励み、謙虚な心で質の高い医療を提供します
5. 喜びと誇りを持てる病院を目指します

フロアガイド

7F	コインランドリー・物干し場
6F	10床(個室8室、2人部屋1室)
5F	10床(個室6室、2人部屋2室)
4F	9床(個室5室、4人部屋1室)
3F	8床(個室3室、2人部屋1室、3人部屋1室)・厨房
2F	画像診断室・事務室・医局・検査室
1F	外来診察室・地域医療連携室・受付・薬局 医事課・会議室



日本医療機能評価認定病院
【3rdG: Ver.2.0】

社会医療法人 春回会
出島病院
DEJIMA HOSPITAL

〒850-0862 長崎市出島町12番23号

TEL (095)822-2323 (代表)

FAX (095)822-8855

ホームページ <http://www.shunkaikai.jp>

エリアマップ



病院までのアクセス

- JR長崎駅より出島電停まで電車で5分
- 出島電停より徒歩3分
- 出島道路出入り口より車で2分